脇坂家龍野入封350年記念

特別展 脇坂家 大名への道
—Tatsuno Historic Road—

記念講演会 参加者募集

—8月13日(土)より受付開始—

たつので日本史に出会う

脇坂家が大名として歩みはじめたのは、初代安治・2代安元の時代。豊臣秀吉の天下統一、徳川家康の江戸幕府の開府と共に脇坂家の歴史も動きだしました。この戦国時代から江戸時代への激動の日本史に焦点をあてた講演会を開催します。

各分野の専門家や研究者による、古文書、合戦図屏風、絵画など多彩で貴重な資料を通しての講演です。是非この機会に、この地域のそして日本の奥深い歴史の魅力を再発見いただければ幸いです。

第1回 羽柴秀吉と播磨・但馬・淡路

日時：10月23日(日) 13時30分～
会場：ゐの劇場

講師：前田 徹氏
（兵庫県立歴史博物館学芸員）

東京生まれ。大阪大学大学院文学研究科単位修得退学。兵庫県立歴史博物館学芸員として中世から近世にわたる幅広い分野の展覧会を多数担当。専門は日本中世史。播磨国を中心に、荘園制、守護赤松氏や国人を研究。著書に『中世後期播磨の国人と赤松氏』（清文堂出版、2021年）。近年は播磨・但馬における織田政権下での検地帳など、羽柴（豊臣）秀吉に関する県域ゆかりの史料について調査研究をすすめている。

講演では、検地や家臣団の知行替え、淡路国指出寄帳などを通して、現在の兵庫県域における秀吉政権の成立過程について解説いただきます。

第2回 近江の戦国武将と脇坂安治

日時：10月30日(日) 13時30分～
会場：ゐの劇場

講師：福井 智英氏
（長浜市長浜城歴史博物館長）

奈良県生まれ。天理大学を卒業後、旧虎姫町の学芸員として勤務し、文化財全般を担当。合併後は市文化財保護センターを経て、長浜城歴史博物館で勤務。2021年度から同館初めての女性館長に就任。市民の寄付で建てられた長浜城歴史博物館は歴史ファンなら一度は行ってみたい博物館であり、近江国、湖北は歴史ロマンあふれる地でもある。

講演では、脇坂安治を初め多くの近江出身の戦国武将について多彩な視点から解説いただきます。

第3回 画家たちの桃山時代 ～長谷川等伯と狩野永徳～

日時：11月13日(日) 13時30分～
会場：たつの市役所 多目的ホール

講師：福士 雄也氏
（京都国立博物館研究員）

兵庫生まれ。京都大学大学院文学研究科博士前期課程修了。静岡県立美術館主任学芸員を経て、2014年より現職。専門は近世日本絵画史。「伊東若冲—アナザーワールド—」展（静岡県立美術館・千葉市美術館、2010年）、「池大雅—天衣無縫の旅の画家—」展（京都国立博物館、2018年）などを担当。作品そのものの魅力だけでなく、作品が生み出された土壌や、守り伝えられてきた背景に関心を寄せ、研究を行っている。

脇坂安治が建立した妙心寺隣華院の山水図襖（重要文化財）について、同時期の絵画資料と共に解説いただきます。

第4回 激戦！大坂の陣とその後の西国

日時：11月27日(日) 13時30分～
会場：たつの市役所 多目的ホール

講師：宮本 裕次氏
（大阪城天守閣館長）

静岡県生まれ。神戸大学大学院博士課程中退。大阪城天守閣に学芸員として勤務し、2022年度より大阪城天守閣館長。専門は日本近世史・地域史。徳川時代から現代にいたる大阪城の歴史や大坂の陣の展覧会を主に担当。「大坂定番制の成立と展開」など専門分野の研究論文多数。

講演では、研究者ならではの視点で、大坂の陣を点描。小笠原氏や本多氏など夏の陣で討ち死にした播磨ゆかりの譜代大名や陣のあとの摂津・播磨地域を中心に解説いただきます。

★事前申込が必要です。★定員：各回50名（先着順） ★参加費：無料 ※会場位置は裏面地図をご参照ください。

写真：脇坂安治画像　個人蔵／徳川家康画像　東京大学史料編纂所所蔵模写
淡路国指出寄帳　館蔵／賤ヶ岳合戦図屏風　長浜市長浜城歴史博物館蔵／山水図襖　妙心寺隣華院蔵／大坂夏の陣図屏風　大阪城天守閣蔵

特別展 脇坂家 大名への道 —Tatsuno Historic Road—
期間 10月15日(土)～12月4日(日)
※詳細は後日のチラシ・市HP等を参照下さい。

主催：たつの市／たつの市教育委員会／神戸新聞社　後援：NHK神戸放送局／サンテレビジョン／ラジオ関西

問い合わせ申込み先
たつの市立龍野歴史文化資料館
〒679-4179　兵庫県たつの市龍野町上霞城128-3
TEL：0791(63)0907　FAX：0791(63)0998
Email：rekishi@city.tatsuno.lg.jp

日本遺産 文化庁
令和4年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業